

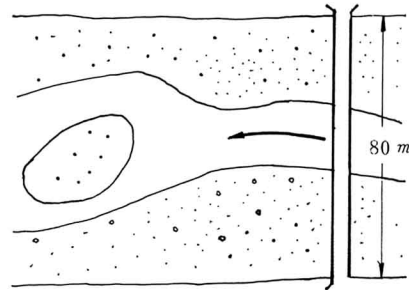
(3) 川原におりて、川原のようすや水の流れを調べる。

① 水の流れが曲がっている付近で、10 m の距離をとり、内側と外側の流れの速さを調べる。

② 水の流れの曲がっている外側の岸が、どうして内側よりけずられるのか話し合う。

③ 水中のぞき箱で川底をのぞき、砂や小石が流されている様子を観察する。

④ 川原の大きいレキはどのような時につもったのだろうか。また、その事を確かめるには、どのような方法があるか。



(4) 川原のレキを調べる。

川原のレキや、砂のつもり方、集まり方が平均的である場所を選び、1 m 四方の方形枠でその場を囲う。

① レキの大ききで分ける。

方形枠の中に入っている長径 5 cm 以上のレキ全てをビニルシートに取り出し、大ききによって、5 ~ 10 cm, 10 ~ 15 cm, 15 ~ 20 cm, 20 cm 以上に分け、その数を調べる。



② レキの形で分ける。

レキの形で、まるい石、ややまるい石、角ばった石の 3 つに分け、その数を調べる。

③ 川原のレキの多くは花崗岩で、その外に緑がかったレキがある。緑がかったレキは緑泥片岩と呼ばれる変成岩で、阿武隈山系の東縁部に、南北に帯状に分布しています。

調査した結果を次の表にまとめる。